

男女ともに 不妊症を 知ろう!

現在7組に1組のカップルが不妊症といわれています。子どもを望むカップルは、不妊に関する正しい知識を共有し、治療を受ける場合はできるだけ早期に受診し、主体的に納得のいく治療を受けることが大切です。

不妊症とは…

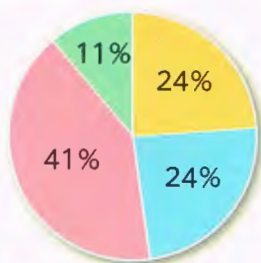
1年以上、定期的に性交を持ちながら妊娠しない場合、世界保健機構(WHO)では『不妊症』といいます。

※定期的：週2～3回がめやす



原因は男女にあり

不妊の原因



男女双方
男性
女性
原因不明

出典：WHO

女性側の主な原因

- 無理なダイエットやストレスによるホルモンバランスの乱れ
- クラミジア感染や子宮内膜症などによる卵管閉鎖や卵管周囲癒着
- 子宮奇形や子宮筋腫 など

男性側の主な原因 (治療は泌尿器科でおこないます。)

- 突発性、精索静脈瘤などによる精子の形成障害
- 精子の通過障害
- 勃起不全(ED) など

男女共に年齢の影響を受けます

女性は卵巣に卵子を200万個程もって生まれてきます。卵子は自分の身体と同じく年をとり、月経の度に千個程ずつ減っていきます。女性は37歳を過ぎると^{にんようせい}妊孕性(妊娠のしやすさ)が明らかに下がります。

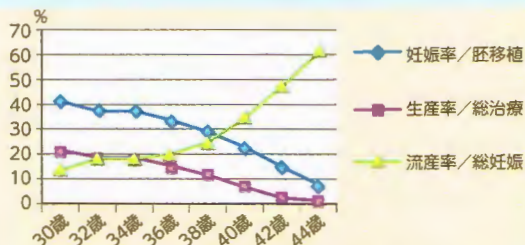
男性の精子は毎日新たに作られますが、精子も卵子同様に年齢の影響や病気、生活習慣などの影響を受けます。

男性の方へ

子どもの頃、おたふく風邪に罹り、高熱が続いたり、睾丸炎になったことはありませんか。ヘルニアの手術も男性不妊になる要因の1つです。タバコやアルコールなどが影響する場合もあります。

妊娠率と流産率

妊娠しても、必ず赤ちゃんが生まれるわけではありません。自然妊娠、不妊治療の妊娠にかかわらず、流産することがあります。



参考：公益社団法人日本産婦人科学会登録・調査小委員会：
2012年ARTデータブック：ART妊娠率・生産率・流産率2012

左図は、不妊治療(生殖補助医療/ART)を受けた場合の妊娠率・生産率(赤ちゃんが出生した率)・流産率を示したグラフです。40歳以降の流産率が急激に上昇することが分かります。

妊娠しても、2回以上の流産・死産または早期新生児死亡(生後1週間以内)によって子どもを得られない場合は、不育症が疑われます。不育症の専門外来へ受診することをお勧めします。

治療を始める前に

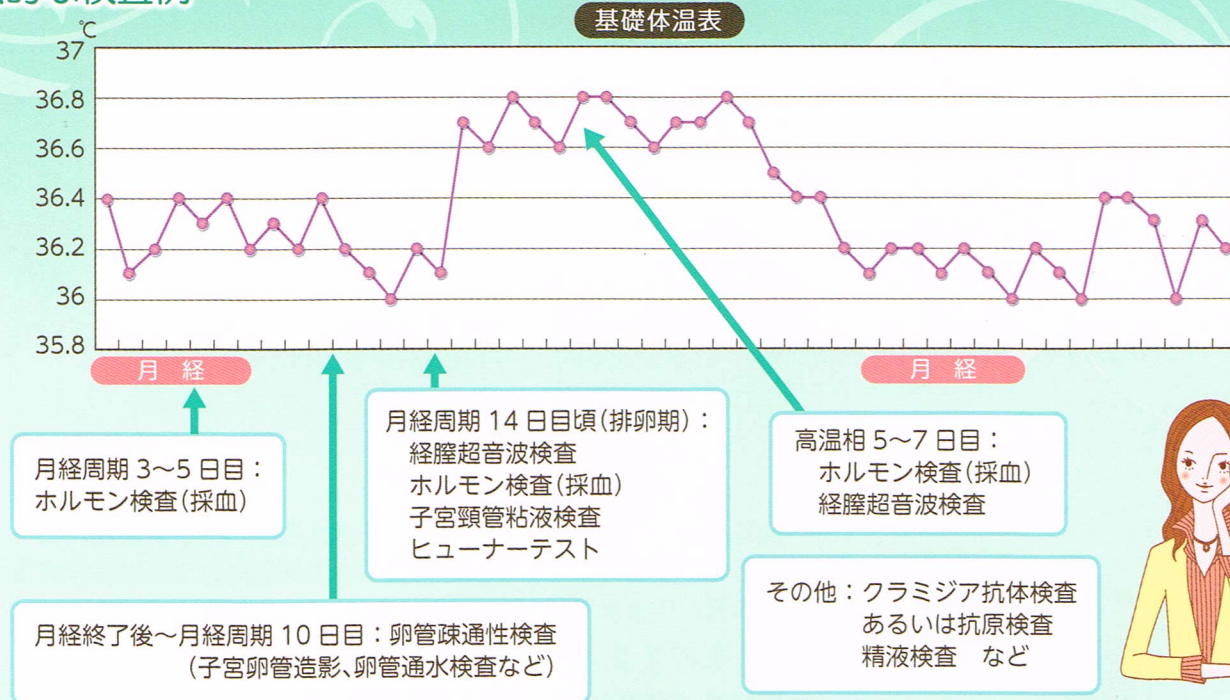
不妊治療の場合、治療を受けてもすぐに結果が出ない場合が多く、また必ずしも子どもを授けられるわけではありません。不妊治療をいつまで続けるのか、治療にかけられる費用はどのくらいかなどをカップルで話し合い、目安をもつことが大切です。治療費については助成制度を利用できる場合もあります。

(詳しくは富山県ホームページ http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1205/kj00001168.htmlをご覧ください。)

周囲の方のあたたかいサポートが必要です

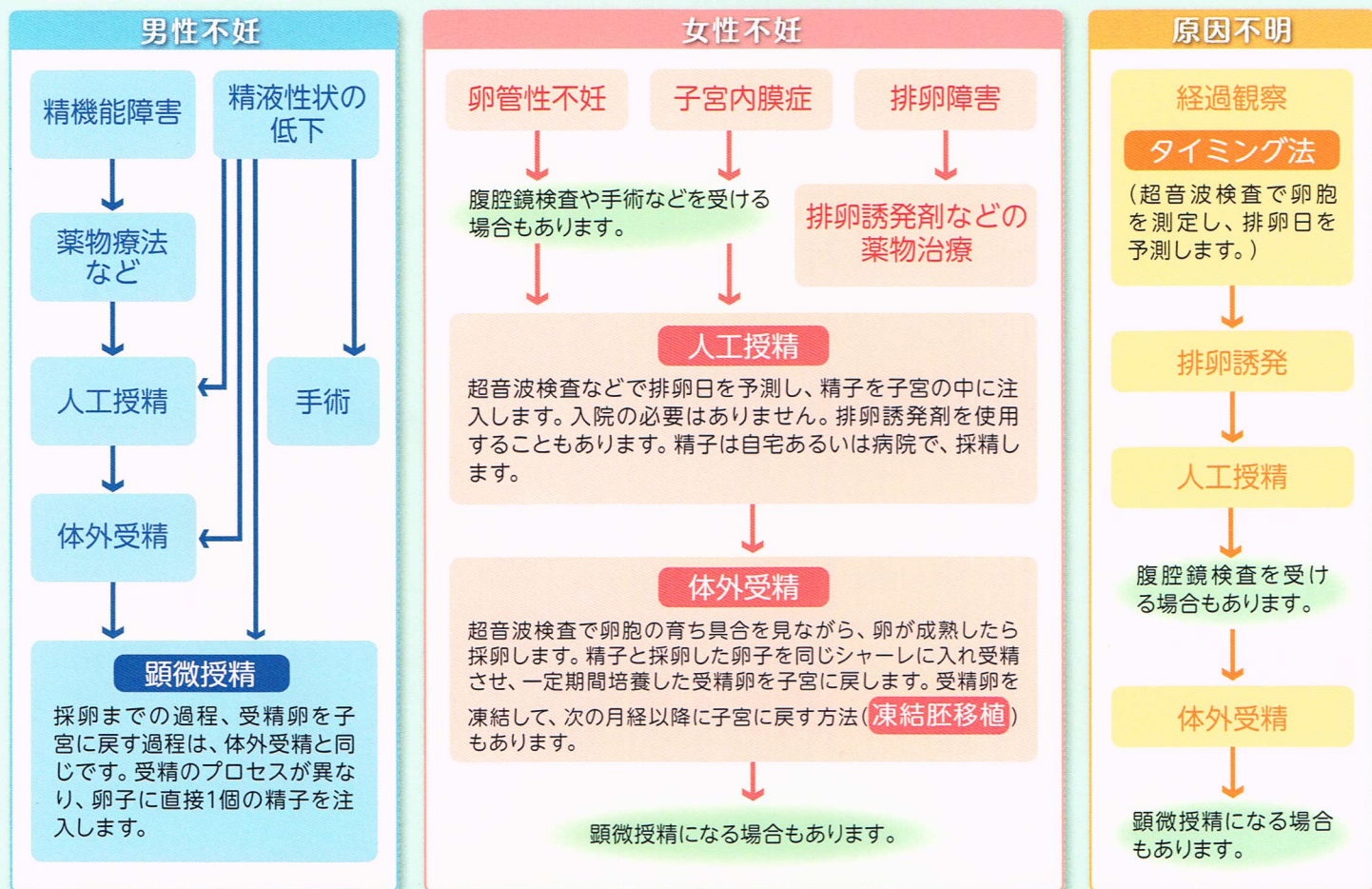
不妊治療は心身ともに大きな負担がかかります。治療を受けている方がいる場合はプレッシャーをかけないように、そっと見守りましょう。また、治療を受けながら仕事をしている方の場合、職場の理解と協力が必要となります。治療をしながら継続して働けるような、職場の環境作りが望まれます。

一般的な検査例



参考：公益社団法人日本産婦人科学会 (2011)『産婦人科診療ガイドライン—婦人科外編2011』

一般的な治療の流れ (治療には個人差があります)



参考：一般社団法人日本生殖医学会ホームページ (http://www.jsrm.or.jp/public/funinsho_qa08.html)

富山県不妊専門相談センター

まずはお電話ください

☎076-482-3033



みいねっと

検索

一般相談 不妊、不育症一般に関すること

電話相談 火・木・土曜日 AM9:00～PM1:00
水・金曜日 PM2:00～PM6:00

面接相談 火・木・土曜日 PM2:00～PM6:00
水・金曜日 AM9:00～PM1:00

【相談員】専門相談員(不妊カウンセラー、フェミニストカウンセラー、助産師など) ※祝日・年末年始は休み

不育症専門相談

月1回 予約制 ※開設日は電話でお問い合わせください。

【相談員】不育症の専門医など